

# RKU Today

流通経済大学 学報  
2021

02 学長就任挨拶

## 「Reborn RKU Vision」 実現への取り組み

文：上野裕一（流通経済大学長）

vol.41

- 04 副学長就任挨拶
- 05 流通経済大学 学部長紹介
- 06 大学院 研究科長紹介
- 07 Reborn RKU Vision 進捗報告
- 08 流通経済大学出版会 刊行書籍のご案内／  
新任教職員紹介／RKUコロナ禍対策
- 09 附属柏高等学校ニュース
- 10 後援会報告

# YUICHI UENO



## 「Reborn RKU Vision」 実現への取り組み

流通経済大学長 上野裕一

本年4月に学長に就任し、流経大が「生まれ変わる道」として「Reborn RKU Vision」を掲げて取り組んできましたが、早くも100日が過ぎました。この間、「誰一人残さない」ため、国際連携と多様性を尊重する共生社会を目指す核としてダイバーシティセンター(仮称)設置準備室を開設したり、学生2人ひとりが充実したキャンパスライフを送ることができるように、大学キャンパスの再整備を推進してきました。さらに、「SDGs」の理解促進のための取り組みも進めてきました。

学生が主体となって、学生の食事を考える「RKU食SHOKUプロジェクト」や「旅する絵のギャラリー」のプロジェクトも新たな取り組みとして進んでいます。

これらの取り組みはすべて、最も大事なしなければならぬ「教育・研究」、キャンパスの主役である学生の「キャンパスライフ」、そして流経大が誇りをもって存在していくための「地域・社会との連携」の3つ柱が基礎となっています。

「教育・研究」では、カリキュラムと授業の在り方について改めて

見直しを進めていきます。そして二つひとつの授業や活動の中に、「SDGs」との関わりを探していきます。しかし、それを進めていくためには教育自体の改革も必要です。持続可能な社会を目指す中で大学としての役割を果たせるように、学部・学科の再編も含めて教育の枠組みを改めて検討します。また、私たちはこれまで教育・研究の中で不可欠の要素として常にグローバル化を意識してきました。

さらに、「研究」は大学の根幹をなすものです。今後は、外部の研究資金を獲得し、より研究活動・成果を推進するための新たな方法も検討します。そのことが学生への研究成果の還元のみならず、地域・社会へより一層貢献することに繋がります。

そして「キャンパスライフ」です。キャンパスは学生にとって大事な生活の場です。そのキャンパスをもっと学生自身が作り上げ、心地よいものにしていくようにしたいと思います。そのために私たちは学生が自ら考え、彩るキャンパスを創ることができるよう、きっかけとなるプロジェクトを準備しました。そして、そのプロジェクト



トは同時に「誰一人取り残さない」ものでなくてはなりません。難しいことはしません。気が付いていなかったこと、やればできるのになかったことをプロジェクトとして進めます。

また、日本では13人に1人がLGBT+に代表される「性的マイノリティ」である、という報告もあります。流経大はLGBT+の皆さんにとっても心地よく学べる場でありたいと思います。そのための準備をします。ガイドラインを設け、学生が相談できる「仲間」を相談員として配置します。

**龍** 龍ヶ崎の地で産声を上げた龍ヶ崎の地、今では他では例を見ない地域「龍ヶ崎市との関わりを築き上げました。「地域・社会との連携」は流経大の財産です。大学に端を発したNPO法人ク

ラブ・ドラゴンズは、創立から19年が経ち、今では龍ヶ崎市における地域スポーツの重要な「プレーヤー」となっています。実績を重ねてきた龍ヶ崎キャンパスはスポーツ交流の拠点としてしっかりと確立しました。これをさらに深化させます。

このように、龍ヶ崎から出発した流経大も新松戸の地で17年の歴史を刻むことができました。少子化の時代を迎えた中で、新松戸キャンパスの重要性はますます高まっています。新松戸キャンパスは、市民が行き交う生活の場の真ただ中にあります。そこは地域の共通の財産であり、新しいRKUを生み出す場所です。次は新松戸の番です。新松戸キャンパスでも地域との交流・連携を飛躍的に進めます。

最後に、改革が急務であるのが入試及び就職です。2021年度入試において、本学は定員を上回る新入生を迎えることができました。しかし、コロナ禍のもとで受験生の動向がこれまでと大きく変わりつつあることも事実です。また、「就職のリユウケイ」

は入試の観点から見ても、まさに本学が長き伝統の下で築き上げた「生命線」でもあります。これまでその伝統を守る結果を出してきましたが、厳しい状況が続いていることも謙虚に受け止め、さらなる向上を目指さなければなりません。激変する環境を前にただ手をこまねいてはいけません。ワンランク上の「就職のリユウケイ」を目指す意味からも、危機は一方で改革の絶対好機でもあります。いまこそあらためて入学試験のあり方、就職対策の抜本的な見直しを図り、時代に応じた形に進歩させるチャンスが来たとはいえるのではないのでしょうか。私たちがいま「SDGs」に取り組むのも、この問題を最も身近に受け止めているのが未来を生きる10代の高校生である、という認識に他なりません。地球のためのSDGsは、入試対策も念頭に、本学が生き残るための私たち自身の問題でもあるのです。視点を換え、視座を変えて、改めて入試と就職の問題を抽出し、新たな課題に取り組みことで改革を進めてい



Reborn RKU Vision -RRV- 上野学長が主導する大学改革プロジェクトの総称。「実学主義」「教養教育」「少人数教育」の伝統を継承しながら、新しい時代に適応した大学に生まれ変わり、たくましく自己実現を目指す学生を育てるための取り組みを推進していく。



[経済学部]

吉村 聡 学部長

SATOSHI  
YOSHIMURA

情報化、グローバル化、価値観の多様化など、社会（ビジネス）を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした変化する社会の中で起きている様々な問題を経済・経営の視点で捉え、それに対する解決策を見いだすのが経済学部の役割であると考えています。経済学部では、現実の世界で起きている問題に対していかに対処するかという力、すなわち世の中を生き抜く力を、学生の皆さんが身につける手助けをします。経済学部で勉強して、変化する現代社会を生き抜きましょう。

経済学部長となって4年目、学生や教員が過ごしやすい環境を創ることが私の職務であると考えています。



[流通情報学部]

矢野裕児 学部長

YUJI  
YANO

流通情報学部は、日本で唯一といってよいロジスティクスを柱とした特色ある学部です。私たちの生活、ビジネスに直結する流通・物流、情報を、幅広い視点から学ぶことができます。

1996年に学部が開設し、25周年を迎えました。今後の展開を表す重要なキーワードが、流通×情報です。リアルとバーチャルが連動し、融合するソサエティ5.0などの新しい社会の姿は、まさしく流通×情報学部が目指すところと合致するものです。

新しい社会、ビジネスをデザインする学部として、流通情報学部をさらに発展させます。



[法学部]

周 作彩 学部長

ZHOU  
ZUOCAI

法学部の特徴は、何といても、法学の勉強を通じて実践的な法的思考力を身につけることができることです。法的思考力とは、裁判において必要とされる「問題発見能力」、「論理的思考力」、「問題解決能力」、「説得する能力」、「バランス感覚」などを指しますが、このような能力は裁判に限らず、どの分野においても役に立つ総合的な人間力といっても過言ではありません。

学部長としてはまだ一年目の新人ですが、法学部の教員と力を合わせて、社会にとって有用な人材を一人でも多く送り出せるよう努力してまいります。

## 流通経済大学

### 学部長紹介



[社会学部]

大橋純一 学部長

JUNICHI  
OHASHI

社会学部は、私たちの日常生活の中で生じる様々な社会現象を研究対象とする学部です。社会学科では、社会学をベースにして心理や福祉・保育の領域に加えて、新たにメディアの領域を充実して、クリエイティブな人材を養成します。また、国際観光学科では語学力の充実のもとに国際文化、地域イノベーション、観光産業の3つの学びの領域を通して、国際的な視野で地域の産業や文化を世界に発信できる人材を育てます。社会学部での学びがこれからの時代の“生き延びる力”につながります。

2022年、社会学部の社会学科、国際観光学科の両学科は新たな研究領域にチャレンジします。国際的な視野を持ったアクティブでクリエイティブな人材を育てます。期待してください。



[スポーツ健康科学部]

黒岩 純 学部長

JUN  
KUROIWA

スポーツ健康科学部では「生命の尊厳」「人間力」を学部の理念として掲げ、実践を通して学ぶことを大切にしています。スポーツ健康科学科では、生涯スポーツから競技スポーツまで幅広い領域を学ぶことができます。スポーツコミュニケーション学科では、コーチング・マネジメント・メディアを3つの柱とし、スポーツを通じて社会で活躍できる能力を身につけることを狙っています。

『スポーツで社会を変える』『スポーツを通じて社会の課題を解決する』に挑戦している学部です。スポーツをすることが好きだった高校生から、スポーツを通じて何かをやりたい大学生となって、社会貢献できる人材を育成していきます。

## 副学長就任挨拶

今年度より就任した3人の副学長よりメッセージ



副学長 片山直登

NAOTO KATAYAMA

この度、教務担当副学長・教務部長を拝命しました。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、春学期はオンラインを中心とした授業となり、学生の方々に対面による教育を提供できなかったことを残念に感じています。このRKU Todayが発刊する秋学期には、本来の教育を提供できていると信じております。

私の学生時代に学んだことにPlan・Do・See（現在ではPDCA）があります。物事を進める際には、結果から方法を評価し、次の改善につなげる必要があります。加えて外部からの評価と情報の透明化が必要になります。本学の教育や学生支援の面で、これらを適切に実施し、学生のための学生から見た最適な教育を提供していきたいと考えています。

4年間の学修・生活を通じて、自ら学び、論理的に思考し、問題を解決することができる能力を身につけることを期待しています。何かを見つけて真剣に取り組み、卒業するときに、充実していたと断言できる学生生活を送ってください。

15年間、大学で入試に関わってきました。定員を割ってはいけない、しかし超えてもいいけない、責任の重さを感じた15年間でした。しかしその一方で、目標の数を達成することの満足感を感じたことも多くありました。このときが、唯一ストレスを発散できたときです。この15年間で大学を取り巻く入試環境は大きく変化しました。少子化による入学者の減少に加えて、最近では文科省による定員管理の厳格化、そしてコロナ禍などが、大学にとっての強い向かい風となっています。こうした厳しい環境の中で、本年度より入試担当副学長として、入試の第一線に復帰することになりました。

入試の役割は、まずは定員を確保することであると考えています。定員を確保できなければ、大学の存立は危うくなるでしょう。さらに、こうした状況だからこそ、大学間の競争も激しいものになると思います。勝ち組となるためには何が必要か。慎重かつ大胆な施策、荒海に船出する覚悟でいます。

大学における4年間の中で、自分の考えをはっきりと表現すること、他人の意見の善し悪しを判断すること、こうした能力をぜひとも身につけて欲しいものです。

本学にお世話になってまだ5年ちょっとです。こうした重責を担わせていただくほど、RKUのことには「無知」です。しかし、そうした過去のしがらみや慣習にとらわれないことを期待されての指名と受け取っています。学生にとり、教職員の皆さんにとり、地域にとり、社会にとり何が最善か、を考えていきたいと思えます。

30年以上、新聞記者やテレビのディレクター、解説をしてきました。そこで身についたことは、まず動くこと、動きながら考えること、想像力を働かせて次を予想すること、です。熟慮の前にまず判断、間違えたら、すぐに修正すればいい、修正しながら進む、ことが大切だと思っています。学生の皆さんには、できないかではなく、どうしたらできるか、を考えて欲しいです。そして公平・公正・透明、が社会の鉄則であることを忘れずにいたいです。

ゼミやプロジェクトに関わった学生の皆さんを、私がこれまでの仕事に関わって来たたくさんの社会人に合わせてきました。皆一様にRKU生の素直さ、すぐに体を動かすことに驚いています。理屈の前に行動するのがRKU生の素晴らしい特徴です。私の役目はキャンパスの中から学生の皆さんを連れ出すことです。社会にはたくさんのプロがいます。プロの仕事を肌で感じて、皆さんもプロを目指してください。



副学長 吉村 聡

SATOSHI YOSHIMURA



副学長 龍崎 孝

TAKASHI RYUZAKI

# Reborn RKU Vision 進捗報告

4月に上野学長が「Reborn RKU Vision」(以下、Vision)をお示し、その後、約束を一歩ずつ進めてまいりました。

豊かなキャンパスライフを立ち上げ、創造性のある空間を新松戸、龍ヶ崎の両キャンパスに展開する試み、「旅する絵のプロジェクト」と「食SHOKUプロジェクト」はコロナ禍で、日々前進を続けています。このプロジェクトの主体は若手教員と学生の皆さんです。すでに先行的な取り組み

Visionの核となるSDGsの推進のためのダイバーシティ構想では、8月にダイバーシティセンター(仮称)設置準備室を立ち上げ、人事では女性・障がい・LGBT+という課題に対応できる人材を配置しました。来年度4月1日には共生社会の実現に向けた「司令塔」となるべく正式に発足させるため、さらに具体的な準備を続けてまいります。



Visionの核となるSDGsの推進のためのダイバーシティ構想では、8月にダイバーシティセンター(仮称)設置準備室を立ち上げ、人事では女性・障がい・LGBT+という課題に対応できる人材を配置しました。来年度4月1日には共生社会の実現に向けた「司令塔」となるべく正式に発足させるため、さらに具体的な準備を続けてまいります。

としてキッチンカーの来訪やロゴの策定などが終わりました。学生による報告のHP掲載、動画作品の制作も進んでいます。学生による学長インタビューのナレーションでは、現役のアナウンサーにご指導いただきながら、普段できない経験を積むことができました。まさにVisionは学生・職員・教員が一体になって進めています。



7月4日に新松戸キャンパスで開催された「ネット社会の生きつらさを問う」シンポジウムでも、司会進行やパネリストのアテンドを務めたのはRKUの学生でした。Reborn RKU Visionは教職員だけでなく、学生の皆さんも巻き込みつつあるのです。Visionで示した重点部の見直しも行いました。これま

ることで、次のステージを目指す体制となりました。さらに、学生や部活動運営に係るデータのデジタル化を進め、誰もがその活動の内容を知ることができる「透明化」の実現に向けて作業が続いています。加えて、私たちの最大の課題は、私たちの後に続く学生の確保です。魅力的な学びの場、そしてストレスのないキャンパスを作り上げ、それをどう高校生の皆さんに周知していくか、これは本学が生き残っていくための避けて通れぬ、そして必ず乗り越えなければならぬ壁です。そのた



めに入試方法の改善、SDGsの取り組みに意欲的な学生の確保、さらには未来を見据えた学びの場の再構築などを進めています。透明性をもって、様々なご意見をいただきながら、公平・公正に物事を決定していくこともSDGsの一つです。RKUはプロジェクトを通じて、着実にいま変化の道を歩み始めました。皆さん一人ひとりがこのRKUを変えていく主役です。それは教員、職員だけではなく

ません。学生一人ひとりを巻き込みながら、生まれ変わっていくわけではありませんか。



[経済学研究科]  
崔光 研究科長

CHOI  
KWANG

経済学研究科では、経済学や経営学分野の専門的知識を有するスペシャリストやリサーチャーを育成しております。昨今、グローバル化やフィンテック、AIなどの目覚ましい進展により、本研究科においても新時代のあり方をめぐり様々な議論が活発に展開され、現在とても興味深いリサーチが多数行われております。

今後の時代で必須となるのは、豊富な知識より論理的な分析力や思考力です！現実の課題を深く探求することで、そのような能力を着実に身につけていくことができます。本研究科では、そのような素敵な学習体験を提供いたします！



[物流情報学研究科]  
古井恒 研究科長

HISASHI  
FURUI

物流、ロジスティクス、さらにサプライチェーン・マネジメントなどと呼ばれる領域は、人々の日々の暮らしを支える余りにも当たり前なこと過ぎて、普段それほど注目を集めることはないかもしれません。しかしながら、必要不可欠という意味で、これほど縁の下の力持ちに徹している分野もないでしょう。物流情報学研究科では、だからこそ、様々な切り口でこの広大な世界を明らかにしています。

さらに勉強してみたい学生、経験豊富な社会人、国に帰って一旗上げたい留学生など、様々な要望に応えられる研究科でありたいですね。



[法学研究科]  
西島良尚 研究科長

YOSHINAO  
NISHIJIMA

「持続可能性ある社会」に向けての実践活動推進のためには、すべての人の「基本的人権保障の維持発展」と、それを守るための真の「民主主義」及び「民主政治」の「維持ないし持続可能性」が不可欠の大前提です。今こそ、憲法以下の「法学」及び「政治学」系の研究とその積極的な発信が、我々法学系専門家の社会的責任であると考えています。

何が「公正」であるかについて古代ギリシャ・ローマ以来の2000年を超える歴史をもつ法学系「学問」の「知恵」を社会に伝える人材を育てたいと考えております。

## 大学院

### 研究科長紹介



[社会学研究科]  
村田典子 研究科長

NORIKO  
MURATA

社会学研究科は、地域社会学、社会福祉学、産業社会学、観光社会学といった諸領域の高度職業人や、創造性豊かな研究者の養成を目指して1994年に創設されました。その後長年に渡り、時代を見据える確かな目をもつ福祉臨床家、深い知識や豊かな感性をもつ研究者、観光産業やエンターテインメント産業、情報産業これからの社会を担える高度職業人の養成に取り組んでいます。

最近の入学学生には、学部からそのまま進学した人、社会福祉現場や医療現場で活躍している社会人、定年退職後、さらに学びたいと進学してきた人、外国人留学生等、幅広い経歴をもつ人たちが学んでいます。お互いに刺激し合いながら、教員とともにさらなる学びを深めていきたいと考えています。



[スポーツ健康科学研究科]  
高松潤二 研究科長

JUNJI  
TAKAMATSU

スポーツ健康科学研究科は、競技/生涯スポーツのプロモーションリーダーになり得る高度職業専門家を育成するため、2010年に設置されました。その間、学内外から入学を受け入れ、先端的な研究や学び直しの場として機能し、多くの修了生がスポーツの現場や学校の教員として指導的な立場で活躍しています。

体育・スポーツ・健康は、一人ひとりの生活を豊かにするだけでなく、様々な場面で「持続的な社会」の意味や価値に気付く機会を提供してくれます。本研究科は、スポーツを通じてよりよい社会を構築していくプロモーションリーダーを輩出していきたいと考えています。

# RKU Today

## 付属柏高等学校ニュース

# RKU Kashiwa High School NEWS

## 2023年4月開校予定の「流通経済大学付属柏中学校」

本学園(日通学園)が、より一層の教育の充実と発展を図るために設置する「流通経済大学付属柏中学校(認可申請中)」は、2023年4月に開校する予定です。教育の特色である3つの柱、「グローバルコミュニケーション教育・ICT共創教育・流経リーダーシップ教育」を融合させた「未来創造教育」によって、付属柏高校との一貫教育で「新しい時代を切り拓く若者の育成」を目指します。

付属柏中学校の施設は、付属柏高校隣接地の一部を拡張した高校の敷地内に建設され、中学校と高校の緊密な連携を図り、私学の新たな中高一貫校として教育の質の向上を図ってまいります。そして、流通経済大学の先生方にもご協力いただき、大学と連携しながら最先端の教育・

学問に接する機会をつくり、生徒達の知的好奇心の高揚を図ることにしています。

この度、付属柏高校内にある2階建の宿泊研修施設「尚志館」1階の一部を改装し、付属中学校の「開設準備事務室・入試センター」をオープンしました。今後は、この準備室を拠点に、流通経済大学付属柏中学校の開校(2023年4月)を目指して本格的な準備に入ります。

詳しくは、流通経済大学付属柏高校のホームページに掲載されていますのでご覧ください。  
<https://www.ryukei.ed.jp/>



## 2021年度1学期「全国大会出場」部活動紹介

- 男子ラグビー部 —— 第8回全国高校7人制ラグビーフットボール大会出場 ※7大会連続  
[結果] プレートトーナメント(予選2位グループ) 優勝  
※15人制は今春の関東ラグビーフットボール大会Aブロックで準優勝
- 男子サッカー部 —— 全国高校総合体育大会(インターハイ) 出場 ※3大会ぶり15回目  
高円宮杯U-18サッカープレミアリーグEAST ※前半終了時点で暫定4位
- 駅伝部 —— 全国高校総合体育大会(インターハイ) 陸上競技個人部門 男子1500mに出場
- 放送部 —— 全国高校総合文化祭 団体部門・個人部門に出場 ※3年ぶり8回目

(2021年7月25日現在)



## 流通経済大学出版会 刊行書籍のご案内

### 交通学の足跡 — 一角本良平の交通探索の旅路を辿る —

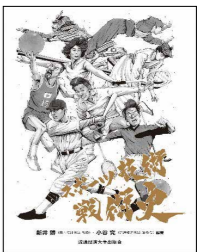
角本良平は超人的な研究活動を行い膨大で貴重な研究実績を残した。都市交通研究、通勤新幹線構想、国鉄改革論、道路公団改革、郵政改革への評価等多岐にわたる主張を整理・紹介し、その偉大な足跡を紐解く。



杉山雅洋 著  
A5判 上製 298頁  
本体価格3,630円(税込)

### スポーツ技術・戦術史

スポーツの個別史の研究に長い間取り組んできた研究者達が各種目の技術・戦術史で重要と思われるテーマや時期について、自由に取り上げた一冊。



新井博/小谷究 著  
A5判 並製 280頁  
本体価格2,200円(税込)

## 新任教職員紹介

本学に新たに赴任した教員・職員を紹介します。

### 須川まり 社会学部 准教授

●経歴・取得学位等  
京都大学大学院人間・環境学研究所共生人間学専攻博士後期課程修了博士(人間・環境学)

### 鈴木理沙 流通情報学部 准教授

●経歴・取得学位等  
国立大学法人東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻博士課程修了博士(工学)

### 梶田祥嗣 教育学習支援センター 専任所員

●経歴・取得学位等  
早稲田大学文学研究科東洋哲学専攻博士課程修了博士(文学)

### 土岐温史

国際交流センター  
学生支援グループ 国際交流課長補佐

### 佐藤毅章

就職支援センター 参与

### 細川康介

入試センター 入試課

### 諏訪智紀

総合情報センター  
図書情報グループ情報システム課

### 末永和也

総務部 総務課

### 松田拓実

総務部 人事課

### 森千冬

経理部 経理課

### 仲澤祐樹

スポーツ健康科学部  
インストラクター

### 佐藤佳生

学長室

## 【RKUコロナ禍対策】秋学期に向けて

昨年度に始まった新型コロナウイルス感染症(Covid-19)は未だに出口が見えませんが、本学はコロナ禍においても学生を教育する責任を負っているとの自覚から、様々な感染防止策を講じてきました。昨年度から教員はオンライン授業の実施に取り組み、職員はオンラインでの学生支援に力を入れています。また、大学施設(教室、食堂、共有スペース等)に抗菌・抗ウイルス処理を施したほか、各キャンパス入口に検温器、アルコール消毒を設置し、職員による体温確認や声掛けを実施しています。課外の活動においては、運動部に関わる感染防止ガイドラインを策定し、各監督に実行性のある取り組みを求めていると同時に、職域接種を実施しています。

ワクチン接種が進んでいるとはいえ、感染リスクがゼロになるわけではありませんので、大学として学生の皆さんが安心・安全に学ぶことができる環境を今後もより一層整備していきます。

## 2021年度収支予算書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日 (金額単位:千円)

項目	予算	摘要
前年度からの繰越	24,875	
前渡金回収	3,000	
入会金	6,525	入学者1,305名(外国人留学生・編入学生含)
会費収入	62,125	
計	68,650	
収入合計(A)	96,525	
通信費	2,100	広報誌送料、後援会資料送料
印刷費	1,100	広報誌印刷等、後援会資料印刷
会議費	200	
事務費	5,000	
父母懇談会費	4,050	会場使用料、案内状・配付資料作成等
雑費	150	
小計	12,600	
諸行事後援費	17,000	卒業記念品、学生イベント等の補助
小計	17,000	
求人開拓費	150	求人のための費用
就職指導費	9,000	業界説明会開催費、学生配布資料作成、エントリーシート攻略テスト受験料等
小計	9,150	
課外活動補助費	9,000	スポーツ傷害保険料、課外活動備品等
大学祭・体育祭補助費	1,600	大学祭への援助
クラブ顧問補助費	22,000	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	32,600	
環境整備寄付金	2,000	
前渡金支出	2,000	
支出合計(B)	75,350	
翌年度へ繰越(A-B)	21,175	

### [編集後記]

- 10年程前、子供のクレヨンの中に「パールオレンジ」という聞き慣れない色を見つけた。自分が子供の頃には「肌色」と呼んでいた色だ。確かに肌の色は人それぞれ異なる。なるほど、と納得すると同時にショックを受けた。
- 差別問題には比較的敏感だと思っていた自分が、何の疑いもなく何十年間も「肌色」を使い続けていたのだ。オリンピック前の立て続けの解任劇を憂いながら、他人事ではないと感じる。
- 当たり前や常識は時代によって変わっていく。倫理観や価値基準も変化している。特に最近の急速な変化についていけない大人たちが多いのではないだろうか。大人は自ら謙虚に学び続けなければならないが、その学びの機会も与えられるべきである。
- SDGs、LGBT+、ダイバーシティ…これらも、外国や他人の目を気にしてではなく、流行や手段としてでなく、真に心の伴ったものとして理解すること、丁寧な説明によって理解を促すことが必要だろう。「誰一人取り残されない」ように。(編集子)

## 2021年後援会役員

2021年度の役員が決定しました。

会長	仲村忠則
副会長	飯高将史
	染谷友之
監事	風見順一
	佐久間 行雄

## 2021年度事業計画

2021年度は、本後援会の目的(会則第3条)及び事業(第5条)にそって、次に掲げる事業を推進していくものとする。

### 1 後援会会員(父母)と大学との連携

- (1) 父母懇談会の実施に伴う諸費用の援助  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインにて実施予定。
- (2) 広報誌の発行及び費用援助  
大学と父母を結ぶ広報誌「RKU Today」発行の費用を負担する。

### 2 就職活動への援助

- (1) 求人開拓・就職指導に対する援助
- (2) エントリーシート攻略テスト受験料の全額負担

### 3 課外活動に対する援助

- (1) 文化系・運動系クラブに対する援助
- (2) 課外活動関係設備を充実するための援助
- (3) 課外活動傷害保険料の全額負担

### 4 諸行事への援助

- (1) 学生が開催する大学祭等の行事に対する援助
- (2) 卒業生に対する卒業記念品の贈呈等

### 5 後援会奨学金の貸与

家計急変等により学業継続が困難となった学生に大学と協力し、後援会奨学金を貸与する。

### 6 その他

環境整備への援助 以上

## 2020年度収支決算書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日 (金額単位:円)

項目	予算(a)	実績(b)	増減(b-a)	備考
前年度からの繰越	12,013,918	12,013,918	0	
前渡金回収	2,363,097	2,363,097	0	
入会金	7,020,000	6,965,000	△ 55,000	入学者1,404名(外国人留学生・編入学生含)
会費収入	67,341,000	66,750,000	△ 591,000	
利息収入	0	811	811	預金利息
計	74,361,000	73,715,811	△ 645,189	
収入合計(A)	88,738,015	88,092,826	△ 645,189	
通信費	2,300,000	1,985,969	△ 314,031	広報誌郵送料等
印刷費	800,000	1,004,189	204,189	広報誌印刷費等
会議費	200,000	0	△ 200,000	
事務費	5,000,000	4,910,000	△ 90,000	
父母懇談会費	4,000,000	0	△ 4,000,000	
雑費	150,000	58,588	△ 91,412	振込手数料他
小計	12,450,000	7,958,746	△ 4,491,254	
諸行事後援費	9,000,000	4,591,058	△ 4,408,942	卒業記念品代、サーモカメラ等
小計	9,000,000	4,591,058	△ 4,408,942	
求人開拓費	500,000	0	△ 500,000	
就職指導費	13,000,000	9,644,526	△ 3,355,474	就職説明会等補助、就職適性検査・就職模試受験料
小計	13,500,000	9,644,526	△ 3,855,474	
課外活動補助費	9,000,000	20,120,096	11,120,096	スポーツ傷害保険料、課外活動備品購入等
大学祭・体育祭補助費	1,600,000	0	△ 1,600,000	大学祭への援助
クラブ顧問補助費	30,000,000	15,903,692	△ 14,096,308	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	40,600,000	36,023,788	△ 4,576,212	
環境整備寄付金	2,000,000	2,000,000	0	
前渡金支出	2,000,000	3,000,000	1,000,000	
支出合計(B)	79,550,000	63,218,118	△ 16,331,882	
翌年度へ繰越(A-B)	9,188,015	24,874,708	15,686,693	

## 財産目録 (2021年3月31日 現在)

項目	金額	摘要
(一般資金)		
現金	149,234	手許残高
預金(常陽銀行 竜崎支店)	24,725,474	期末残高
小計	24,874,708	
(育英資金)		
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	35,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	5,000,000	育英基金果実
普通預金 奨学金口(常陽銀行竜崎支店)	4,701,740	育英基金果実
育英基金貸付金	2,082,000	2名
小計	91,783,740	
合計	116,658,448	
負債の部	0	
差引正味財産	116,658,448	

### 監査報告書

流通経済大学後援会会則第10条第3項の規定により、2020年度流通経済大学後援会収支決算について諸帳簿を監査した結果、その内容についてはいずれも正当なものと認め、第13条の規定により報告いたします。

2021年3月26日  
会長 仲村忠則  
監事 風見順一

## 後援会報告

本学在学生の父母で構成される後援会は、大学と各家庭との連携を深め、本学の発展・向上を図るために各種事業を行っています。

## 2020年度事業報告

2020年度の事業計画にもとづいて、次のとおり後援会の事業を実施した。

### 1 後援会会員(父母)と大学との連携

- (1) 父母懇談会の開催状況

開催都市	実施日
龍ヶ崎キャンパス	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となりました。
新松戸キャンパス	
青森市	
秋田市	
郡山市	
高崎市	
金沢市	
名古屋市	
高松市	
神戸市	
那覇市	
熊本市	
12会場	

- (2) 広報誌発行の費用援助  
大学と父母を結ぶ広報誌「RKU Today」発行の費用を負担した。

### 2 就職活動への援助

後援会発足以来の重点施策の一つである大学の就職指導に関して全面的に協力し、費用の一部を負担した。また、就職適性検査・就職実践模擬試験の受験料を全額負担した。

### 3 課外活動等に対する援助

- (1) 大学の課外活動振興が円滑に推進できるよう、文化系・運動系クラブに対する援助をした。
- (2) 課外活動関係設備を充実するため援助した。
- (3) 課外活動傷害保険料を全額負担した。

### 4 諸行事への援助

- (1) 卒業生に対し卒業記念品を贈呈した。

### 5 その他

環境整備への援助

# 2022年度入試

試験会場はいずれも龍ヶ崎キャンパスです。

入試種別	期	出願期間(締切日必着)		試験日	合格発表日	入学手続締切日	
						(1次)	(2次)
自己アピール (一般・部活動特別)	1	~	<b>10/26</b> [火]	<b>11/ 6</b> [土]	<b>11/12</b> [金]	<b>11/18</b> [木]	<b>12/23</b> [木]
	2	<b>9/15</b> [水]	~ <b>11/24</b> [水]	<b>12/ 4</b> [土]	<b>12/10</b> [金]	<b>12/16</b> [木]	<b>1/27</b> [木]
	3	~	<b>1/11</b> [火]	<b>1/22</b> [土]	<b>1/28</b> [金]	<b>2/ 3</b> [木]	<b>3/ 2</b> [水]
課外活動推薦 (本学指定の スポーツ・文化活動)	1	~	<b>10/26</b> [火]	<b>11/ 6</b> [土]	<b>11/12</b> [金]	<b>11/18</b> [木]	<b>12/23</b> [木]
	2	<b>9/15</b> [水]	~ <b>11/24</b> [水]	<b>12/ 4</b> [土]	<b>12/10</b> [金]	<b>12/16</b> [木]	<b>1/27</b> [木]
	3	~	<b>1/11</b> [火]	<b>1/22</b> [土]	<b>1/28</b> [金]	<b>2/ 3</b> [木]	<b>3/ 2</b> [水]
自己推薦 (一般・取得資格特別)	1	~	<b>11/24</b> [水]	<b>12/ 4</b> [土]	<b>12/10</b> [金]	<b>12/16</b> [木]	<b>1/27</b> [木]
	2	<b>9/15</b> [水]	~ <b>1/11</b> [火]	<b>1/22</b> [土]	<b>1/28</b> [金]	<b>2/ 3</b> [木]	<b>3/ 2</b> [水]

やる気と情熱で勝負できるRKUの入試

## 総合型自己アピール



**大学案内 2022**

本学公式webサイトの「資料請求」からお申込みいただけます。(送料とも無料)

問合せ先

新松戸キャンパス  
TEL: **047-340-0293**

龍ヶ崎キャンパス  
**0120-297-141**

☎ <https://www.rku.ac.jp/>  
✉ [ees@rku.ac.jp](mailto:ees@rku.ac.jp)

※各キャンパスの入試センターで個別入試相談も実施中。(詳しくは本学公式webサイトをご覧ください)

**RKU** 流通経済大学

学報 **RKU Today vol.41** 2021年9月発行  
編集・発行/学校法人日通学園 流通経済大学 学長室  
千葉県松戸市新松戸3-2-1 〒270-8555 [gcs@rku.ac.jp](mailto:gcs@rku.ac.jp)

